

令和5年度地域における医療連携に関するアンケート調査

回答結果

1. 調査概要

【アンケート調査の趣旨】

地域の医療機関と積極的に連携を図り、地域に根差した医療機関として質の高い精神科専門医療の提供を目的とした医療連携室の開設から約1年が経過した。

今後更なる連携を図っていくために、当センターの課題を把握し、医療サービスを向上させ、さらには今後の地域における医療連携の在り方等を検討する。

【調査対象】

伊奈町・上尾市・桶川市・蓮田市・白岡市の夜間・休日診療所及び休止中を除く全医療機関

県内の精神科・心療内科を標榜する医療機関のうち、認知症専門やホームページ上に精神科・心療内科の記載が無い施設を除いた機関

【調査期間】

令和5年9月末～12月末

【調査実績】

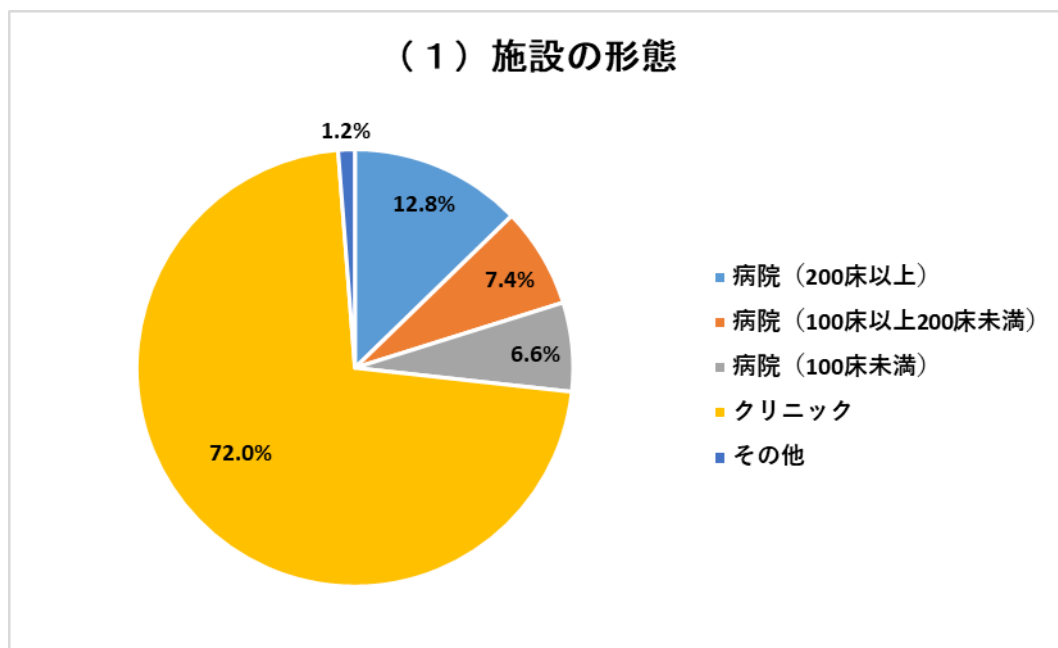
アンケート送付数：594件

アンケート回答数：243件（回答率：40.9%）

2. 調査結果

1. 御回答いただいた施設について

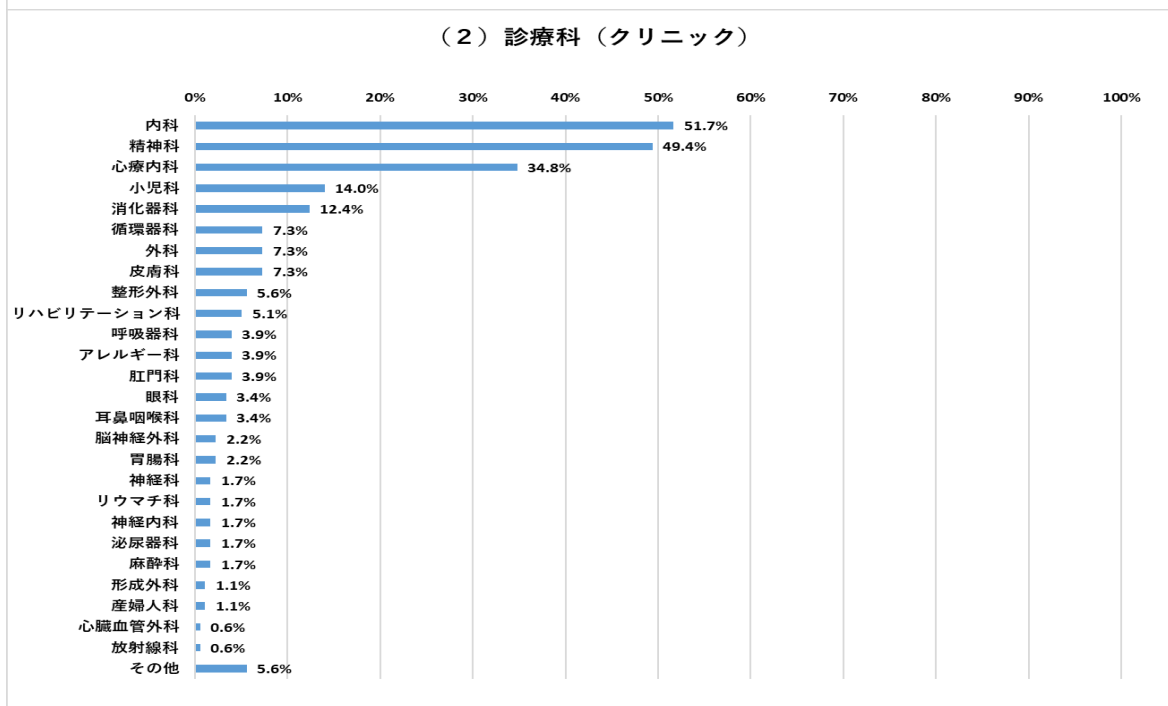
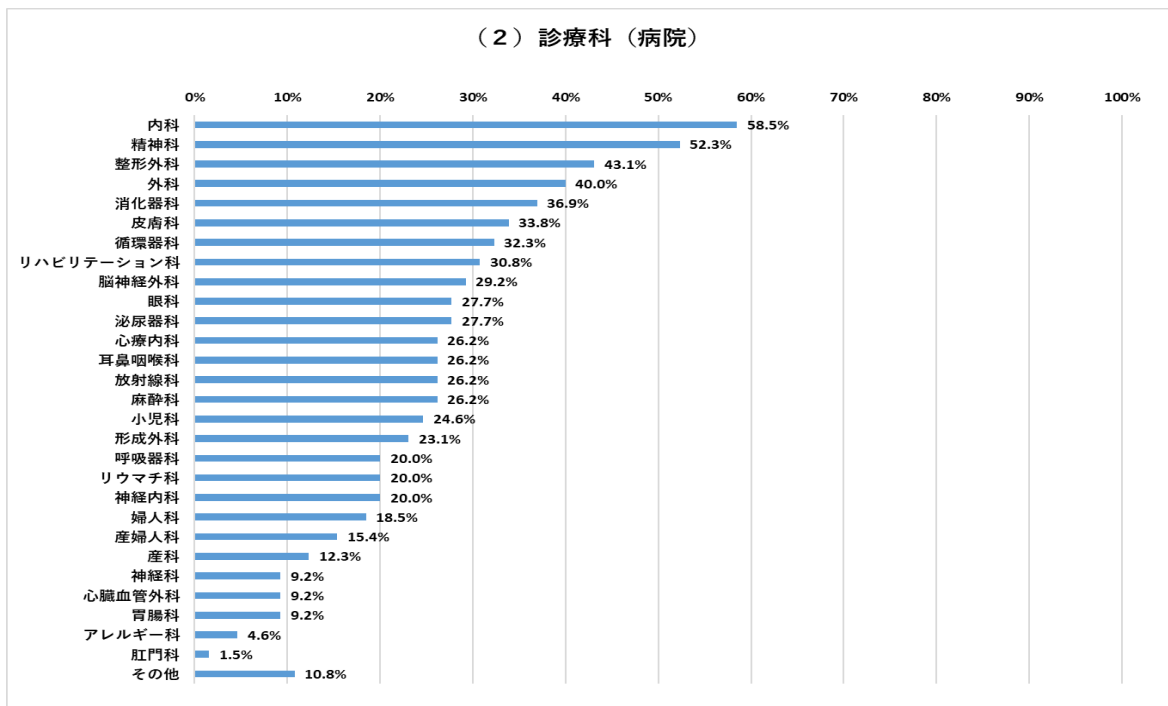
(1) 施設の形態



御回答いただいた 243 件の内訳は、病院（200 床以上）が 31 件、病院（100 床以上 200 床未満）が 18 件、病院（100 床未満）が 16 件、クリニックが 175 件、その他が 3 件であった。

次の設問以降については、回答のあった 243 件を病院 65 件とクリニック（その他施設 3 件含む）178 件に分けて報告する。

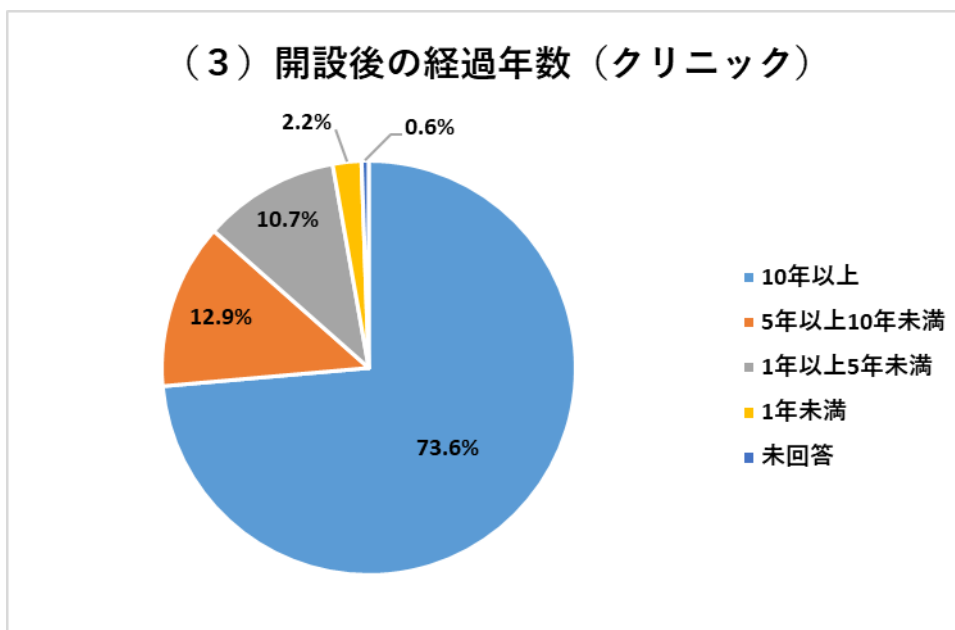
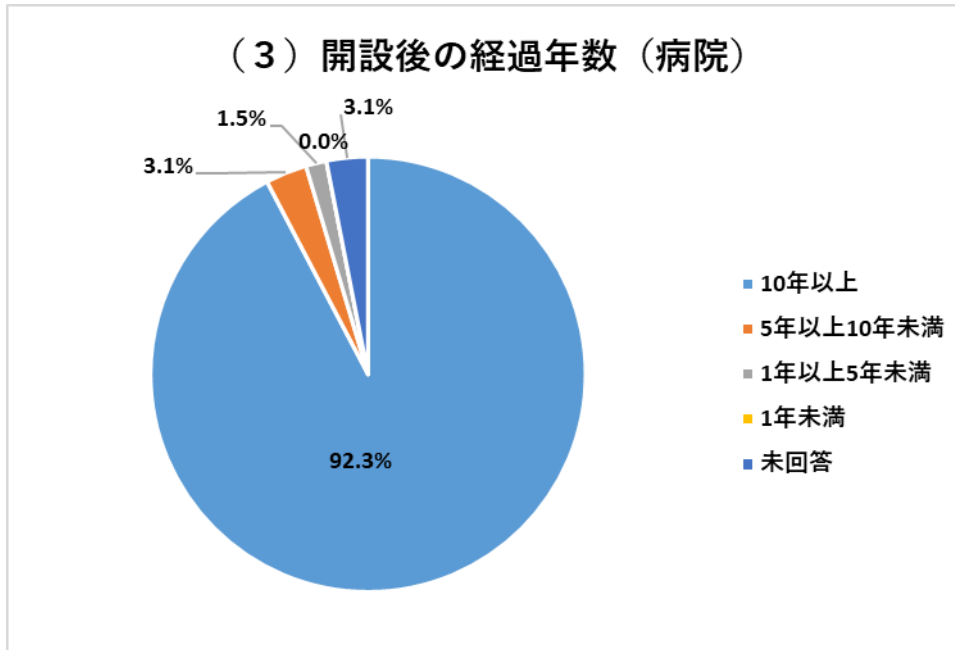
(2) 診療科<複数選択可>



病院、クリニックともに最も多い診療科が内科、次いで精神科でありどちらも御回答いただいた施設の約半分が診療を行っているという回答している。

内科、精神科以外の診療科は病院とクリニックでやや異なる傾向が見られたが、当センターがアルコール依存症専門治療を行っていることから、どちらも消化器科からの回答を多くいただいた。

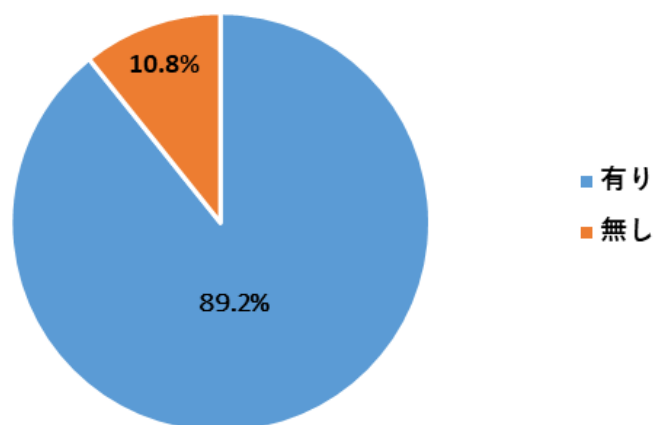
(3) 開設後の経過年数



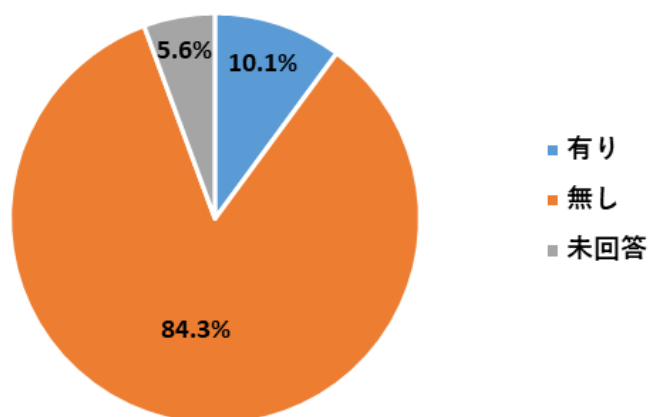
病院、クリニックともに開設から10年以上が経過している施設が多数であった。10年未満の施設は病院が1割に満たないのに対し、クリニックは回答の4分の1程度であった。

(4) 他の医療機関との連携を図るための専担組織（例：医療連携室）の有無

(4) 専担組織の有無（病院）



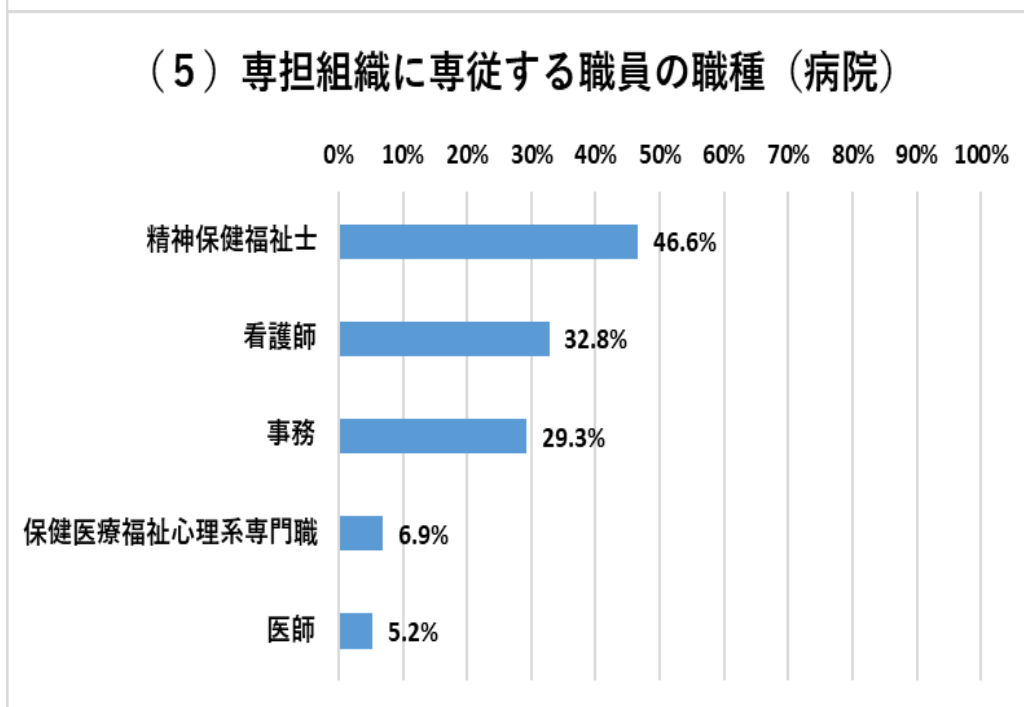
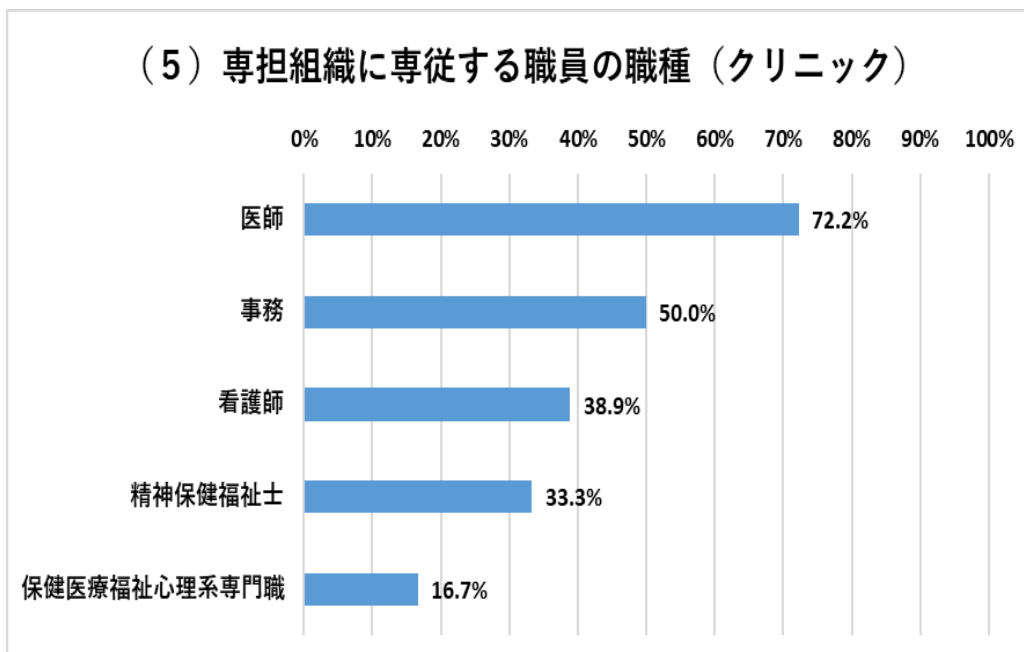
(4) 専担組織の有無（クリニック）



病院は約9割が有りと回答したのに対し、クリニックでは約1割であった。

病院で回答のあった65件のうち、200床以上の病院は31件（約48%）であったが、病床数の規模によらず、ほとんどの病院が他の医療機関との連携を図るための専担組織を設置しているようであった。

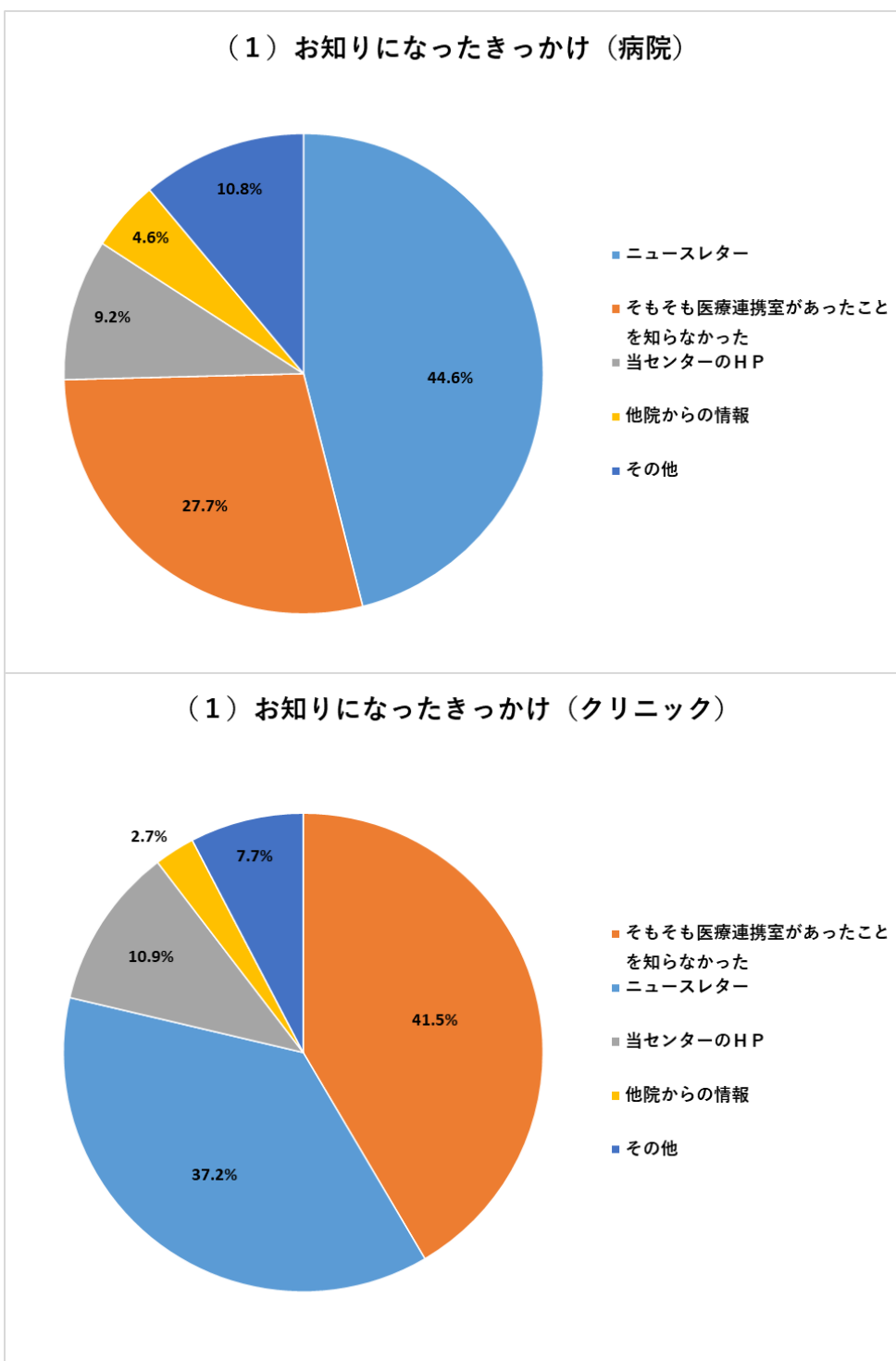
(5) 専担組織に専従する職員の職種<複数選択可>



最も多い職種は病院では精神保健福祉士、クリニックでは医師と違いが見られた。次いで看護師、事務が専従しているケースが順位の違いはあるが、どちらにも多く見られた。

2. 当センターの医療連携室について

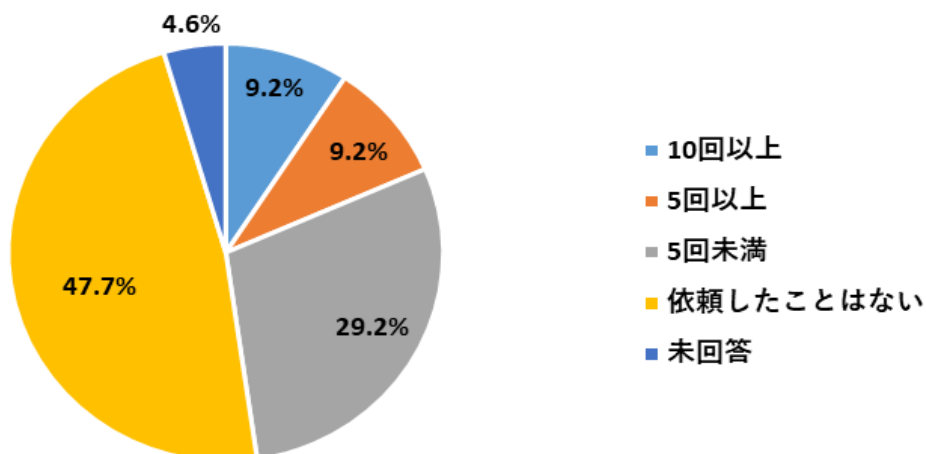
(1) お知りになったきっかけ



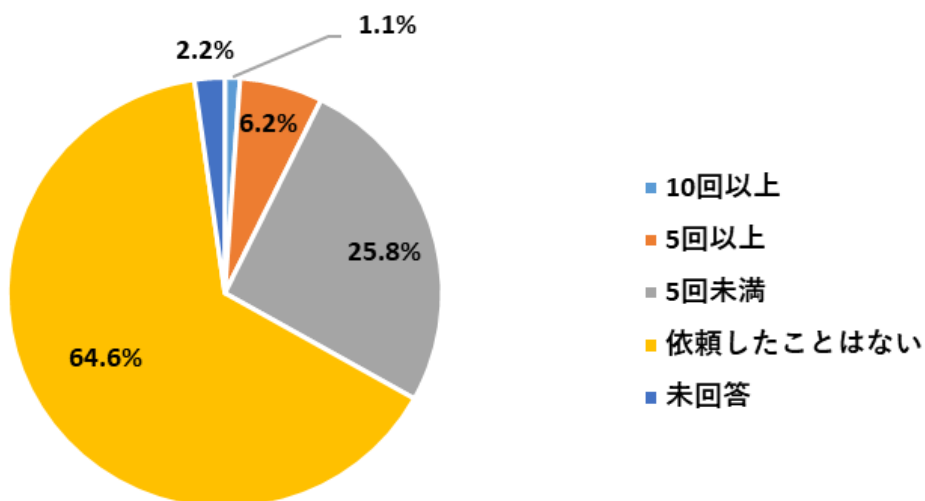
病院、クリニックともにニュースレターから知っていただけたケースが多かった。しかしながら、病院では約3割、クリニックでは約4割が知らなかったと回答しており、広報に課題があると感じた。

(2) 依頼実績

(2) 依頼実績 (病院)



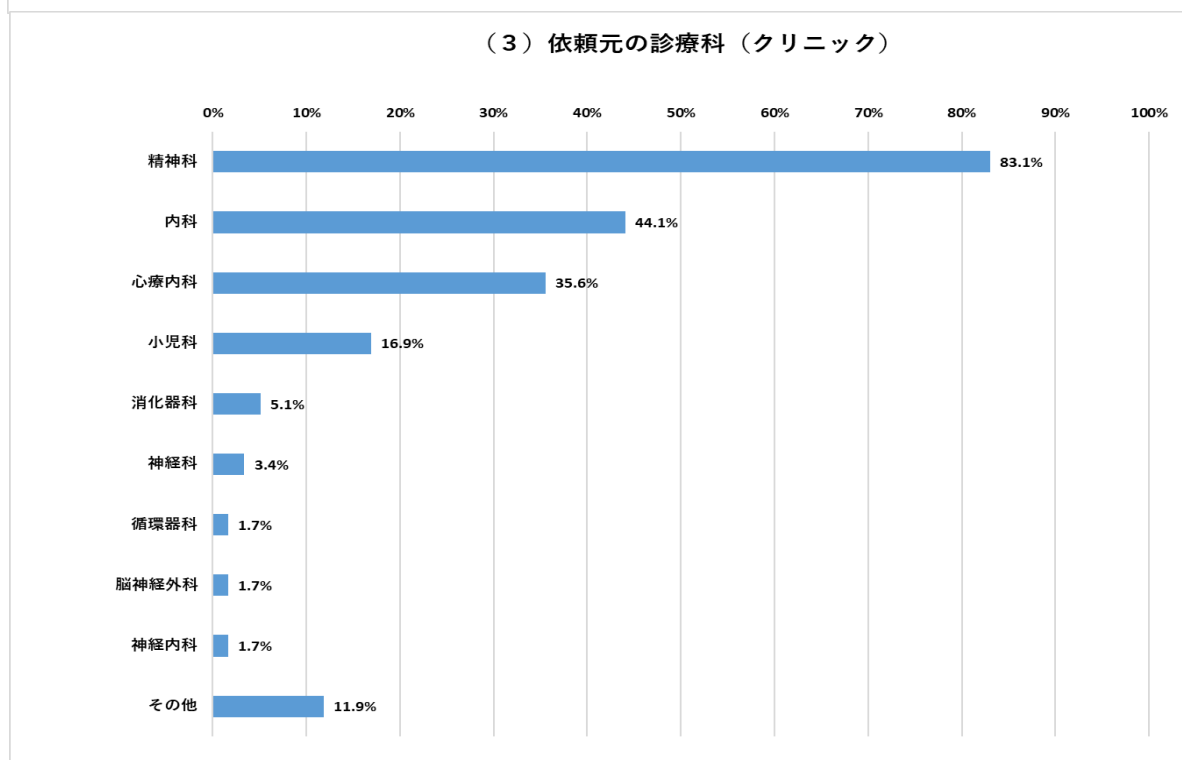
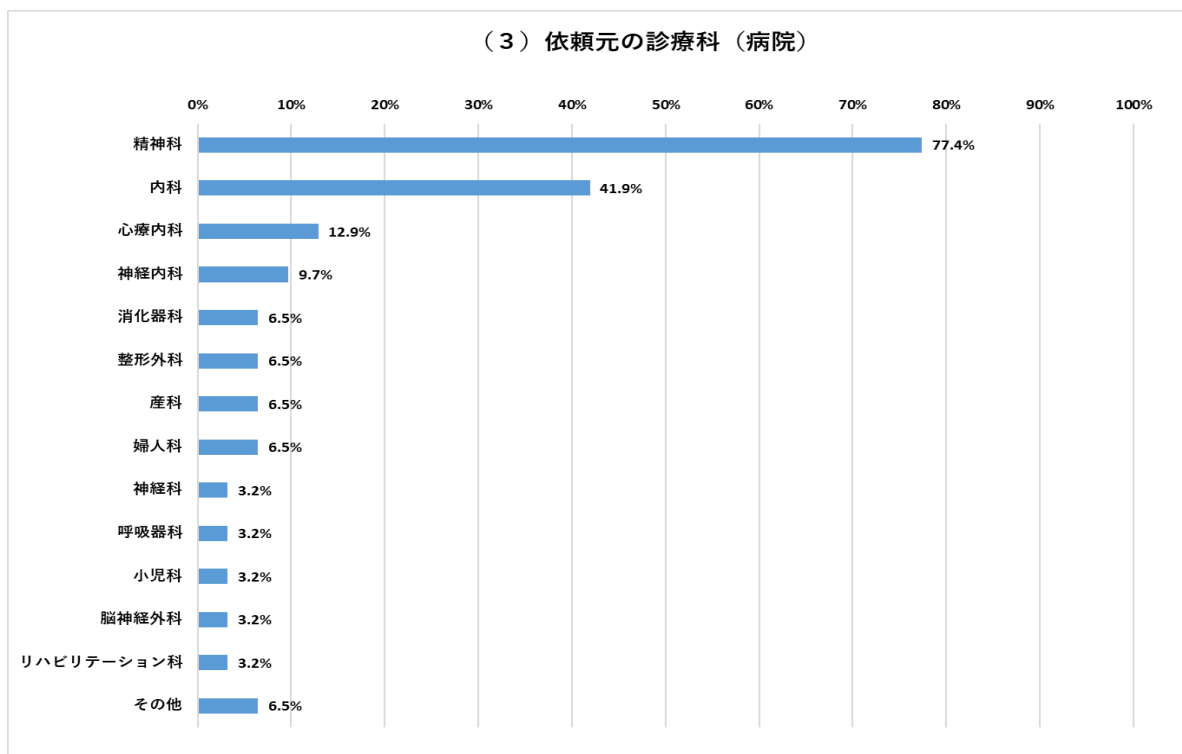
(2) 依頼実績 (クリニック)



「依頼したことがない」という回答がともに多く見られた。前設問から医療連携室があったことを知らなかった施設が多いことが原因と考えられるが、「どのようなケースが受け入れられるか分からない」、「児童・思春期病棟は満床のためかいつも断られる」等、依頼しても断られる印象を持たれているようであった。

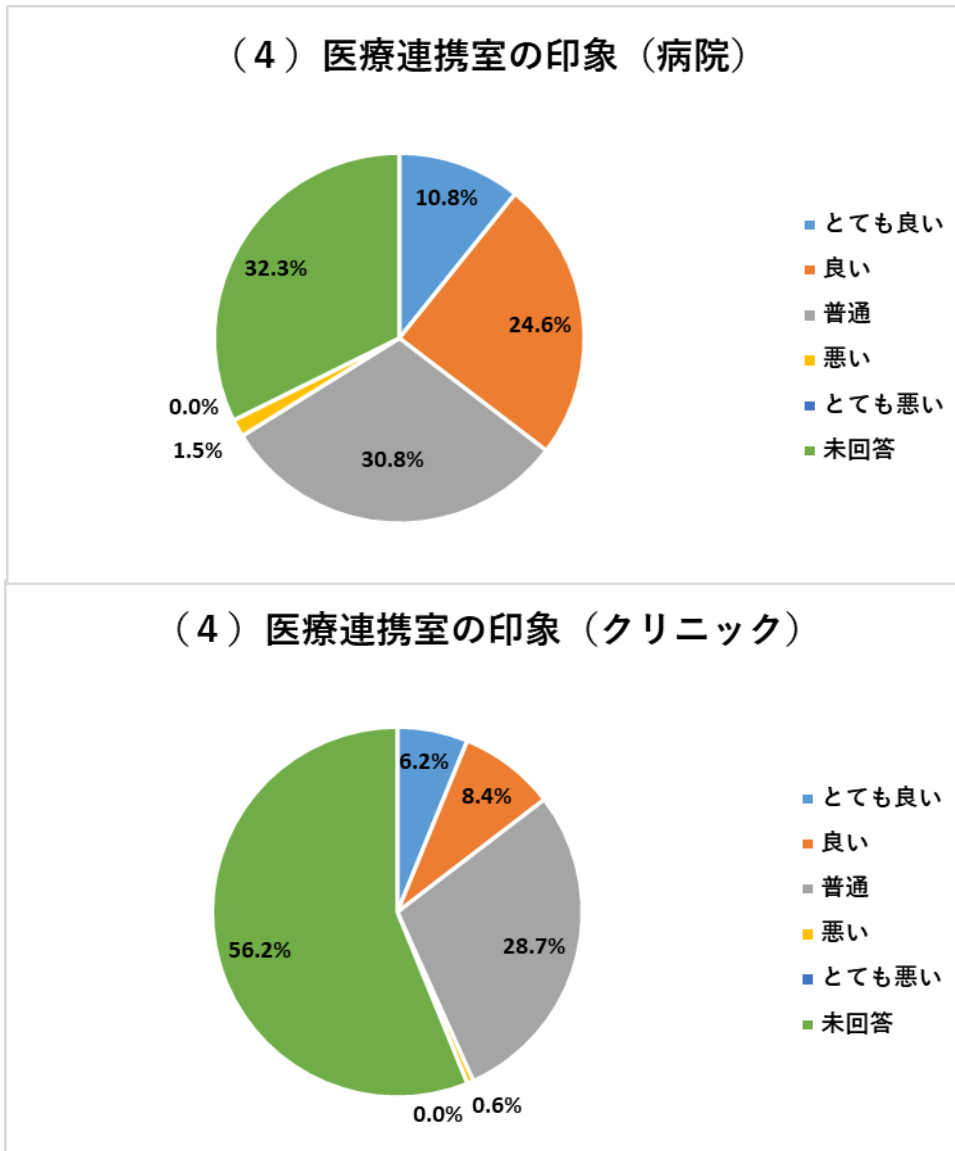
依頼がある場合でも「5回未満」がともに多いが、「10回以上」依頼いただいたケースがクリニックではほとんどないのに対し、病院では約1割見られた。それほど多くはないものの多数の依頼をいただいている病院があることを確認できた。

(3) 依頼元の診療科<複数選択可>



ともに精神科、内科、心療内科の順で多く、病院とクリニックで大きな差異はなかったが、クリニックでは小児科からの依頼が多く見られた。

(4) 医療連携室の印象

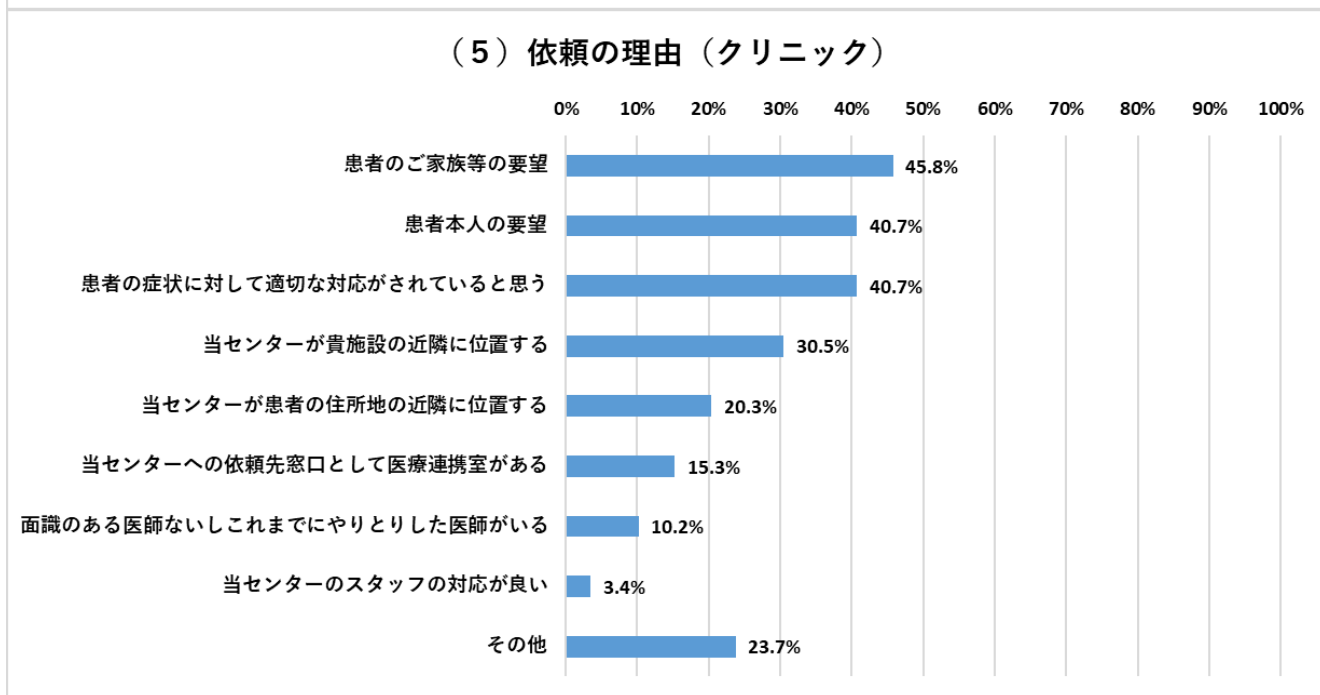
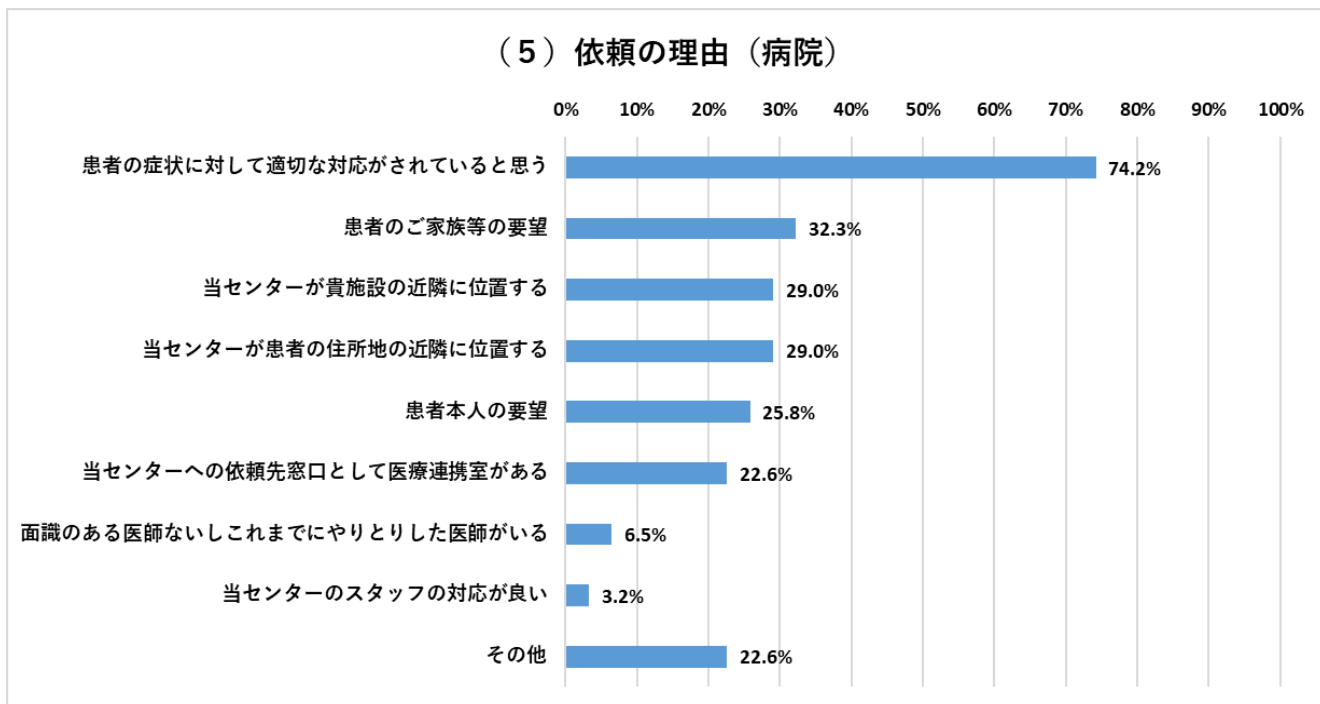


依頼実績がない施設も多いことからともに未回答が多数あり、回答のあった中では「普通」という回答が最も多かった。

一方で病院では、「とても良い」または「良い」と回答した施設が回答のあったうちの約半数を占めるものの、クリニックでは約3分の1程度であった。

また、「悪い」という回答もあり、「医療連携室の機能や役割等が十分に伝わっていない」、「依頼してから受け入れまでの時間がかかった」という御意見は複数の施設からいただいた。

(5) 依頼しようとした理由<複数選択可>

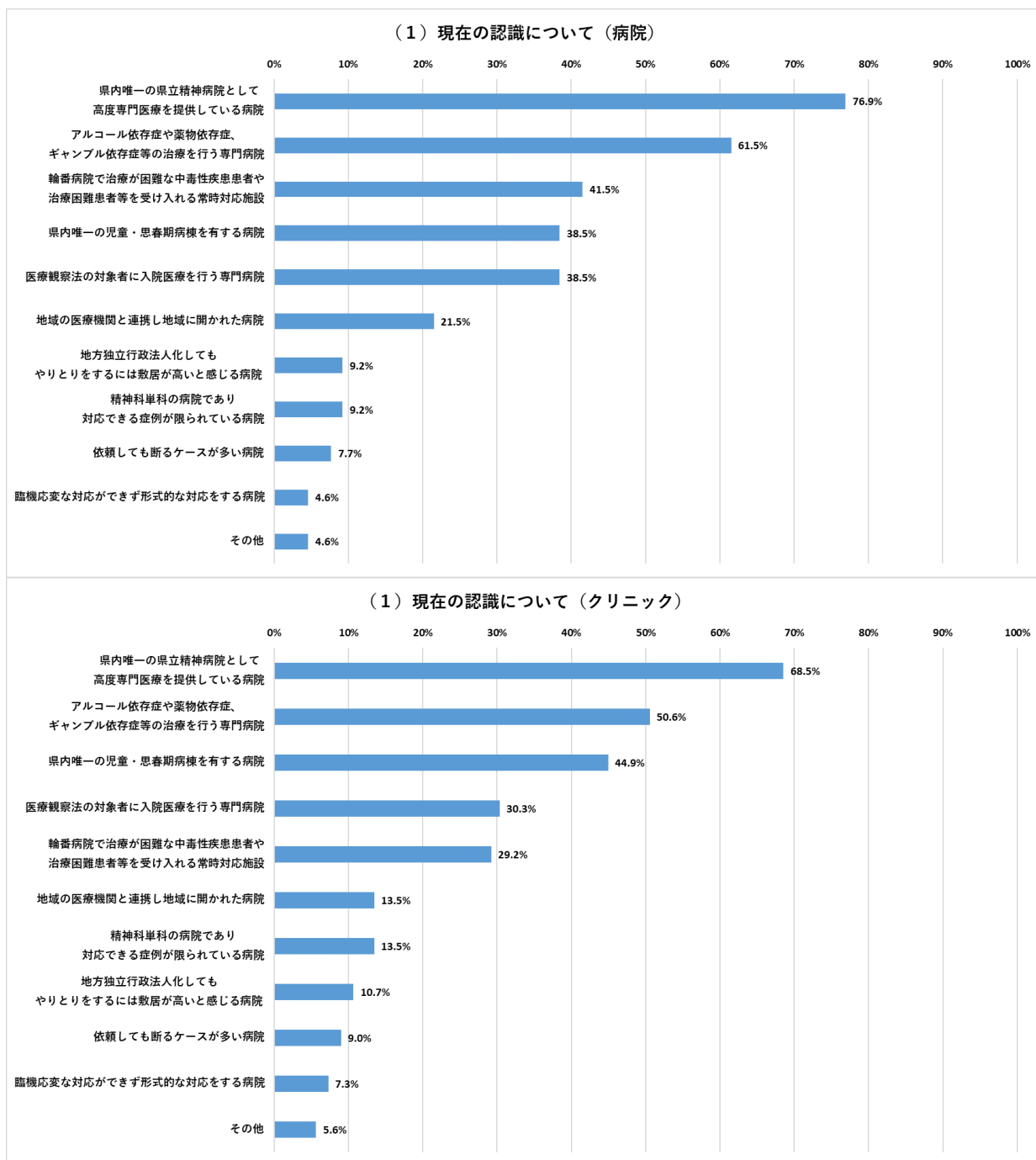


約4分の3の病院に「患者に対し適切な対応がされていると思う」と回答いただき、病院からの依頼理由では最も多かった。

一方で、クリニックの依頼は患者のご家族や本人の要望が理由という回答が多く見られた。

3. 当センターに対する期待について

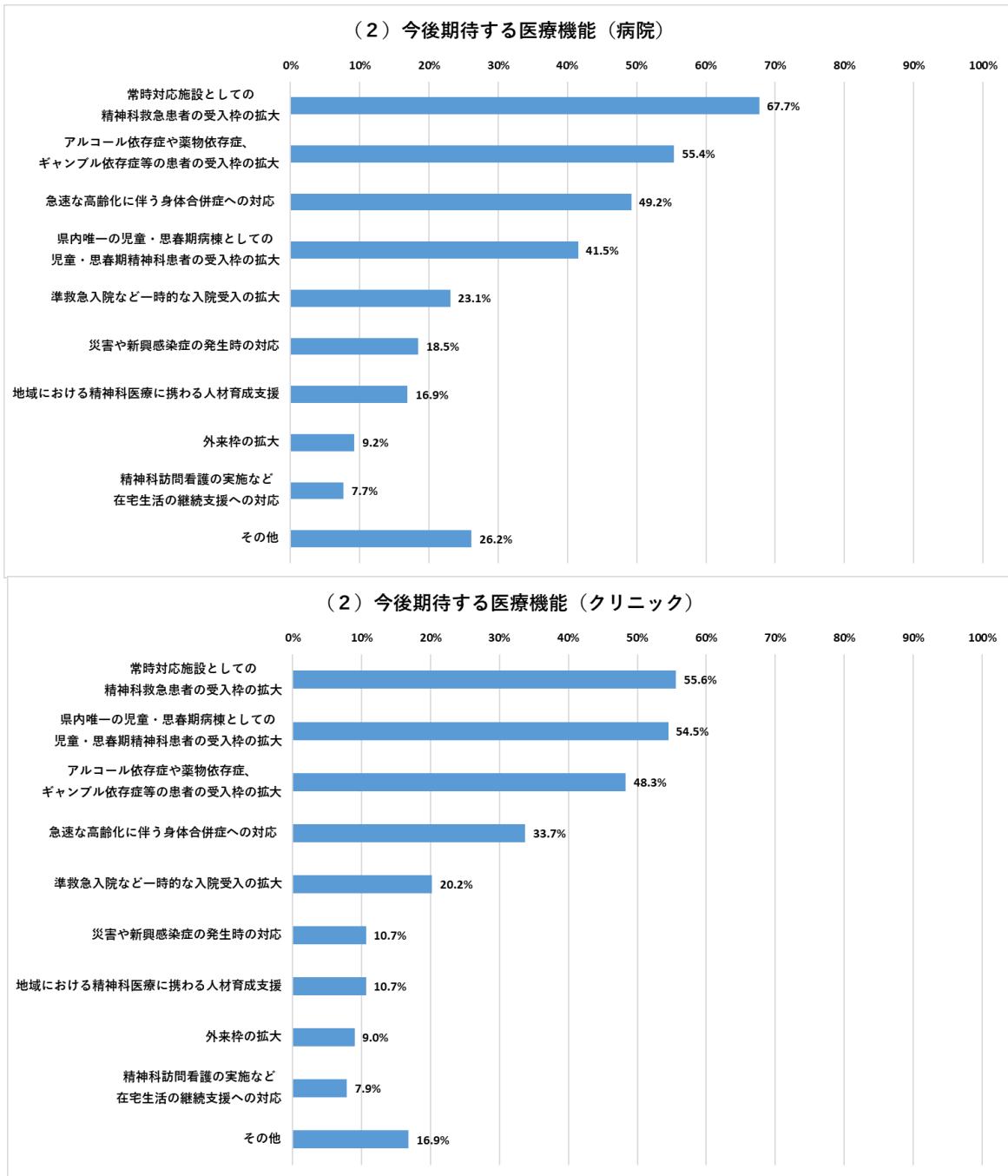
(1) 現在の認識について



ともに県内唯一の県立精神病院であること、依存症の専門治療を行っていることが強く認識されていることが伺えた。

また、県内唯一の児童・思春期病棟を有することは、病院よりもクリニックに強く認識されているようであった。

(2) 今後期待する医療機能



ともに精神科救急患者や依存症患者の受入枠拡大のニーズが多く、当センターの現在の認識と関連していることが伺えた。

また前設問と同様に、クリニックからは児童・思春期の患者の受入枠の拡大が期待されているようであった。